

南富良野高 来春にも新寮

「緑南寮」隣接地に16室

【南富良野】臨時町議会が16日開かれ、町外からの入学者が増えている町立南富良野高の2棟目となる学生寮の建設事業費1億9千万円を盛り込んだ、本年度一般会計補正予算案を原案通り可決した。町は昨年、同校初の学生寮「緑南寮」を開設したが、民間の下宿を含めて男子は満室となっていることから、隣接地に16室の新寮を建設し、来年度以降入学する生徒の住環境を整える。

入学希望者増に対応

町教育委員会によると、新設する寮は木造2階建て、全室個室で風呂、トイレ、キッチンを備える。今夏に着工し、完成は来年2～3月の予定。

朝夕の食事は隣の緑南寮で提供する。

南富良野高は2021年度の入学者数が3人まですり減ったが、アウトドア科目の開設やカヌー

部、カーリング部の活動をアピールし、22年度は18人に回復。本年度は前年度より4人増の24人で、うち富良野地方以外の出身者が13人だった。昨年11月に完成した緑南寮は15室で、高校生向けの民間下宿も2棟ある

が、男子は満室となっているほか、女子の空き室も4室しかなく、来年度以降、不足が見込まれていた。このため「町外の新入生を募集する上で、住居の確保は不可欠」（町教委）として、新たな寮の整備を決めた。



昨年11月に完成した「緑南寮」。同じ敷地内に新しい寮を建設する予定だ

高橋秀樹町長は16日の本会議で「南富良野高への進学を希望する子どもたちの受け入れをしっかりと行い、地域の担い手を育成したい」と述べた。

議員からは「既存施設の改修で対応できるのではないか」との意見も出されたが、賛成多数で補正予算案を可決。本年度一般会計総額を53億7700万円とした。

本会議ではこのほか、議員の質問の論点を明確にするため、執行部に「反問権」を付与する内容を盛り込んだ議会会議規則の一部改正案なども原案通り可決し、閉会した。

（川上舞）